

班回覧 由布市挾間 青少年健全育成市民会議



令和7年10月 発行
由布市挾間青少年健全育成市民会議
事務局：挾間公民館内
TEL：097-583-1118
FAX：097-583-1186

令和7年度重点目標

- ①子どもが健やかに成長できる環境を作るために、インターネットやSNS等の適正利用に関する啓発の促進、声かけ、挨拶、見守り運動を行いながら、青少年の非行の未然防止活動に取り組もう。
- ②地域ぐるみの青少年健全育成活動が実践されるように、市民会議間の連携を密に行いながら、各種団体と共同した事業を展開し、ふるさとの活気と健やかな青少年のこころを育もう。

令和7年度総会



令和7年6月5日（木）開催
はさま未来館 大研修室

役員紹介



副会長 会長 副会長 顧問
佐藤 武洋 枝木 東海 矢戸 美代 田中 廣幸

会長あいさつ

今夏も昨年の比ではないほどの猛暑が続き、更には一旦降り出すと止む事を知らぬ雨が続き、晴れば晴れて経験した事の無い高温が続き、人々は一様に成す術も無く、おさまってくれと願う日々が続いています。先日の台風は、九州のほど近くで発生しました。何が起こるか判らない、想像する事もできない自然の猛威にさらされていると感じます。

そんな私たちにできる事、それは人々がお互いを尊重して認め合う事ではないかと考えています。他人の事を考えて自分が行動する事が当たり前になっていた時代がありました。その先人の想いを、行動を引き継いでいるはずの私たち、その事を改めて考える必要があるのではないかと感じています。一人ひとりが持つ小さな力を集結して大きな力へと繋ぐことができると信じています。

挾間町は多くの若者世帯が増えています。この地域で生まれ育った方以外にも、子育てしやすい環境が整う由布市に永住して下さる方が増えているようです。私たちは、挾間町の良さを知って貰う事を目的に、親子での散歩会も開催しています。昨年は赤野の丘から海老毛を回るコースでした。今年も新たな散策コースに皆様をご案内する予定としています。あなたの知らない挾間町の魅力に触れる会となるように企画を進めています。ここへの参加は同じ目的を持つ、知らない者同士の集まりとなり、新たな友との出会いに繋がると考えています。

私たちの様々な活動は、一人ひとりの新たな出会いを創出する事、その出会いが大切であり、その事に一人でも多くの方が共感して下さる事を願い続けて行きます。次の機会にも多くの方々のご参加をお待ちしています。

由布市挾間青少年健全育成市民会議は、今年も地域の子どもたちの笑顔を守り、そして地域の皆様の笑顔を目指して取組みを進めてまいります。

ポップコーン機・綿菓子機の貸し出しについて

由布市挾間青少年健全育成市民会議では、ポップコーン機・綿菓子機の貸し出しを行っています。子ども会・自治区の行事などでご活用ください。

貸出
料金

- ・子どもの団体（挾間地域）が利用する場合は無料です。
 - ・その他の団体は1行事2,000円必要です。
- ※ポップコーン機は、専用油・バターソルト代として800円必要です

申込
方法

挾間公民館で、予約・貸し出しを行っています。予約受付は、2か月前の初日から行っています。



専門部会紹介

街頭指導部

部長：丸野 安比古

副部長：蓑原 元



令和7年度街頭指導部は、「子どもたちの心身ともに安全のため、声掛け・挨拶・見守り活動を行う」を重点目標としています。

定例活動として、①古野交差点から北方交差点に至る通学路での自転車登校指導、②向之原駅での挨拶・見守り活動、③子どもたちの放課後に合わせた地域巡回指導の3点を実施しています。

その他、主要行事開催時に「見守り隊」を結成して見守り・安全確認を行っています。

8月23日イオン挟間店屋上で開催された「第3回はさま盆踊り祭り」では、挟間中や挟間小の先生方や挟間町少年補導員の皆様方のご参加をいただきました。さらに、9月13日に開催された「はさま花火大会」でも皆様方のご参加をいただいたところです。

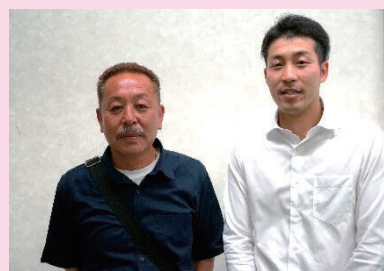
今後は、11月の「きちょくれ祭り」などの巡回パトロールを計画しています。

11月中旬に予定されている県民総ぐるみあいさつ運動に参加の予定です。

地域家庭学校部

部長：梶原 公洋

副部長：谷崎 直輝



昨年に引き続き、部長を務めさせて頂く梶原と、同じく副部長を務めさせて頂く谷崎です。今年度の総会では、活発な議論が行われ、また、参加者の皆さんからのアンケートでは、「気軽に参加できるイベントなどの機会を提供してもらいたい」などのご意見を頂きました。

これからも「地域 子どもたちは地域で育てる」をモットーに、子どもたちとのふれあいを大切に、「ありがとう」という感謝の気持ちを育てるため、家庭内、地域での「あいさつ」を積極的に行って頂きたいと思います。また、地域との関わりをもつために、各種行事やイベントなどへも、積極的に参加して頂きたいと考えております。

今年度もよろしくお願い致します。

スポーツ文化部

部長：中村 純一

副部長：田中 眞知安



各小中学校のPTA組織解体に伴い今年度はこれまでと違った総会となりました。各部会の会議を行わず全体会議で皆様方と意見交換ができた事に大変感謝しております。

スポーツ文化部、今後の行事ですが、すでに7月末に行われました「防災講演会」では、近年の豪雨災害について講演会を行いました。多くの方々に参加して頂き、有意義な講演会となりました。11月には、恒例行事となりました「挟間まちウォーキング」も予定しております。

スポーツ文化部では、今年度の活動方針を皆様方と協議を出来なかった事は残念に思っております。ですが、これからも子どもたちの安心安全を目的とし、各種講演会や行事を通して地域力、防災力の向上に繋げていければと思っております。そのためには、各少年団や芸能団体の皆様方と活発な意見交換ができればと思っております。引き続きよろしくお願い致します。

広報啓発部

部長：生野 友子

副部長：安部 公徳



昨年に引き続き、広報啓発部を務めさせて頂くことになりました。

コロナ禍以降、活動テーマを「SNSに起因する諸問題」とし、主に挟間地域の小・中学校の児童生徒や保護者の皆様に向けての、情報モラルに関する意識調査をアンケートにて行い、広報紙に掲載して参りました。

今後はこのアンケートの意識調査を踏まえ、児童に及ぼす身体的、精神的悪影響にどう向き合い対処していくのかを考えていきたいと思っております。

また、今回のテーマ以外にも広報啓発部で取り上げて頂きたい内容や、ご意見などありましたらお聞かせください。随時受け付けてまいります。

1年間よろしくお願い致します。

由布市挟間青少年健全育成市民会議では、挟間町内の校長先生の紹介を行っています。NPO法人はさま未来クラブの広報紙「未来クラブ」にも掲載していただいております。今年度の掲載は、5月号、8月号、11月号、3月号です。両紙面共にご覧ください。

「不易と流行」

早朝6時30分、挟間中学校のグラウンドに響き渡る「おはようございます」の挨拶。アップをしてから、黙々とグラウンドの周りを走り始める子どもたち。「次の1周は10秒上げていくぞ。」熱のこもった監督の先生の声。遅れそうになっている仲間みんなに送る「頑張れ!」の掛け声。夏休みから2学期にかけて、毎年繰り広げられている駅伝練習の光景です。

もう一つどんなに時代が流れても、変わらず続けられているのが掃除の時間です。

挟間中学校の掃除は、生徒会が提案する「無言清掃」です。清掃時間を知らせる音楽が鳴り始めると、子どもたちは清掃区域で黙想を始めます。学校中がシーンと静かになり、ちょっと緊張感のある時間になっています。チャイムと同時の「お願いします」の挨拶で、掃除が始まります。10分間という短い時間ですが、全員が集中して黙々と掃除に取り組んでいて、素敵な時間です。

タブレットを巧みに使いこなし、インターネットで得た多くの情報を自分たちの生活に活用していくのが得意な、デジタル時代に生きる子どもたちですが、こうやって時代が変化しても、変わらず大事にし続けているアナログな活動のおかげで、心が育っているのだと感じます。

それぞれのご家庭でも、話しをしながら食事をしたり、一緒に散歩をしたり、地区の行事に参加したり、そんな「ゆっくり」した時間がもてるといいなと思います。忙しい中だからこそ、携帯もタブレットも見ない、あえて時間をかける親子の触れ合いができれば素敵です。

挟間中学校 校長 須藤 礼子